



ペイント部門設立 20th Anniversary 復刻デザイン

「りんどうのミニ額絵」 デザイン／迫村 寿子



撮影／本間 伸彦



この図案はどなたでもダウンロードしていただけます
ハンディクラフツのご購入の必要はありません

りんどうのミニ額絵



材料と用具 白木素材=2L判用フォトフレーム (100円ショップなどの市販品)、平筆、丸筆 (3号、4号)、ライナー筆、キッチンスポンジ、古歯ブラシ、サンドペーパー、転写紙、トレーシングペーパー、スタイラス (つまようじでもOK)、下地用シーラー、ニス

素材サイズ 縦20.5cm×横15.5cm

描き方順序

- [1] 中の板をサンドペーパーでみがき、細かい木くずを拭きとって、下地用シーラーを全体に塗る。乾かしてから、再度軽く表面を磨き、木くずを拭きとる。
- [2] 中板全体のベースを塗り、乾いたら図案を写す。脚付きでガタつく場合はペーパーナブキンや厚紙な

どをかませて安定させる。

[3] 絵柄の周辺の背景に色をつけ、しびき模様を飛ばす。

[4] 葉、茎を描く。

[5] つぼみ、開いた花の花びらを描く。

[6] 花芯の周囲と翻った花びらを描く。丸筆に1色目をとり、2色目を筆の先に少量つけて、混ぜずに2色が出るように描く (ティッピング)。

[7] ガクを、下から上に向かって描く。

[8] 葉脈、葉のティントを入れる。

[9] フレームを塗る。

[10] ニスを2～3度塗って仕上げる。

◆色指定

【全体のベース】

B=フリーチドサンド (透けないように重ね塗りする)

絵柄周辺の背景=セロリグリーン
(キッチンスポンジ/スポンジング)

金色のしびき=メタリック14Kゴールド (古歯ブラシ/スパッタリング…水分を少し加えた絵の具をとった歯ブラシを、たたいたり指ではじいたりしてしびきを飛ばす)

【フレーム】

B=アイボリー

縁のS=カーキタン、スパイスタン (S/L)

【葉・茎・ガク】

葉=フォレストグリーン (ウォッシュ/丸筆4号/付け根から葉先へ)

茎=フォレストグリーン (ウォッシュ/ライナー)

ガク=セロリグリーン (丸筆3号/下から上へ)

葉脈=ダークフォレストグリーン (ライナー筆)

葉のティント=パープル (S/L/所どころに入れる)

【りんどう】

<つぼみ>

B=ラベンダーにパープルをティッピング (丸筆3号/先から付け根に向かって1～2ストロークで描く)

ライン=パープル

<開いた花>

花びら (奥3枚)=ラベンダーにパープルをティッピング

(丸筆3号/先から付け根に向かって1～2ストロークで描く)

花びら (手前2枚)=パープルにラベンダーをティッピング

(丸筆3号/付け根から先へ)

中央のくぼみ=ラベンダー (丸筆3号/ラインで半円状に塗っていく)

翻った花びら=ラベンダー+ライトアイボリー (丸筆3号/中心から外側へ)

花芯=ライトアイボリー (丸筆3号/上から中心へ)

花粉=ライトアイボリー、ストロー (ライナー筆/ドット)

◆アクリル絵の具

<デコアート社 アメリカーナ>

DA168 ストロー

DA208 セロリグリーン

DA257 フリーチドサンド

DA106 ライトアボカド

<デルタ社 セラムコート>

2015 パープル

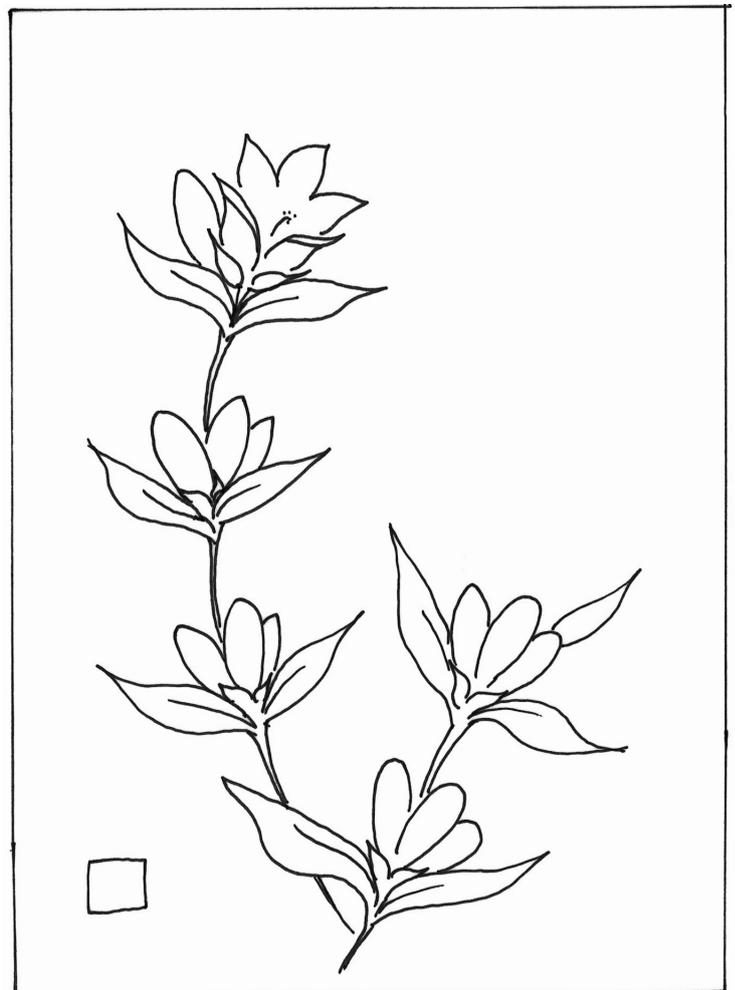
2010 フォレストグリーン

2604 メタリック14Kゴールド

2401 ライトアイボリー

2047 ラベンダー

図案 ※130%に拡大してください



B=ベースコート S=シェイド S1=第1シェイド S2=第2シェイド H=ハイライト H1=第1ハイライト H2=第2ハイライト A=アクセント T=ティント S/L=サイドローディング D/L=ダブルローディング
※筆の種類と大きさ、絵の具の色は目安です ※混色の割合は、指定のない場合は(1:1)になります。